

カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎!

Tel. 03
(5950)
1771

CADからBIMへ

Building Information Modeling

最先端技術も学べる東京建築カレッジ 情報系教科で授業スタート



東京建築カレッジは情報系授業も充実しています。建設DX(デジタルトランスフォーメーション)の最新状況に対応しようと、BIM入門講座を始めます。パソコン操作に不慣れな人も楽しみながら学べるように、担当講師が意見交換しながらオリジナル教材を作って取り組んでいます。

情報系授業担当の板本いたもと安積 教務運営委員に聞きました。

◆建築カレッジでBIMの入門授業を始めた理由は？

今はCAD(コンピュータ支援設計)で図面を描くのが当たり前ではなくなりました。データはCADファイルであっても

BIMモデルから切り出した図面ファイルであることもありません。自分でBIMモデルを作る仕事に携わらなくても、知らない間にBIMから作られた図面データに触れることも増えるため、そのようなプロセスを知っておく必要があります。また、大学の建築学科でBIMによる設計を教えるようになり、図面製作の在り方は今後大きく変わっていくことが予想されます。

◆BIMとは？CADとどう違うのですか？

CADでは平面・平面詳細・立面・断面とたくさん図面図書を別々に描くため、設計変更があっ

た際、すべての図面を個別に修正する必要があります。一方、BIMは3次元の仮想空間に実際に建物を作っていくため、そのモデルからすべての図面を出力することができます。

設計変更でモデルの編集を行えば、すべての図面に反映されるため、設計プロセスを効率化することができます。作業時間は大幅に短縮でき、さらに積算などにも利用され、設計プロセスすべてのセクションとの意思統一ができます。

◆今回、建築カレッジで行ったBIM授業の内容は？

前年度(第27期生)は木造住宅のBIMモデルの作成を行いました。今年度(第28期生)はRCマンションのBIMモデルを作成させました。

◆BIMが使いこなせるような良いことがありますか？

裏面に続く

1年生の授業から

1年生の実習棟実習は上棟後、屋根の野地板、下葺き、間柱、筋交い、窓、内法の作業を学んでいきます。2階建ての実習棟の屋根の上の作業ではフルハーネスを装着し安全第一で作業をしています。右写真。2年次の最初の実習課題「廻り階段」まで実習棟実習は続きます。

実習棟実習続く



全員緊張の2日間

「技能照査(実技)試験」

2年生の授業から

東京建築カレッジのは修了(卒業)試験の位置付けの技能照査試験を2年次の1月~2月におこないます。今年度は1月18日・19日に実技試験=写真、2月15日に学科試験を実施しました。

実技試験の課題は寄棟屋根の構造「化粧棒隅木」の製作を原寸図、墨付け、出来栄えなどの数段階の点検項目で審査します。東京都の担当官の立ち合いで厳正におこなうもので、教室は緊張感に包まれます。大工以外の職種であっても真面目に学べば、できる課題です。建築の専門家を目指す人にとって貴重な体験です。



一般向けBIM体験講習会の構想も



第28期生の質問に対応する板本安積講師(写真右)

ただ将来設計事務所がBIMモデルのまま、下請けの事業所と一緒に設計検討を行いたいなどという時代が来るかと思えます。若い技能者が使いこなすところまでいかないまでもBIMとはどういうものかを知っておく必要があると感じます。希望者が集まったら一般向けに体験講習会もやりたいですね。

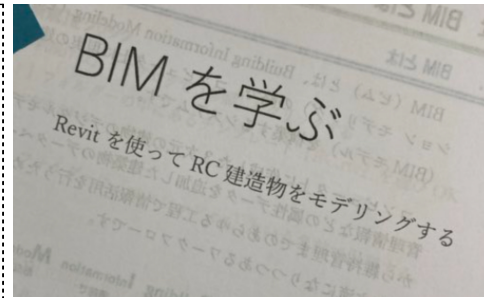
表面から

BIMはCADと違い建築の知識も必要です。ただ線を描くのではなく、それはどういう部材なのかをデータとして作成していくからです。現在の建築業界ではBIMを使える人材が著しく不足しています。これから大学でBIMを学んだ若い世代が、日本の建築業界の常識を変えていくことが求められています。

◆一般向けにBIM体験講習会をやる計画があるとか？その意気込みをお聞かせください。

大手のゼネコンや設計事務所はBIM化が進んでいますが、中小規模の物件を扱う事業者さんの中には、BIMを知らない方が多いです。慢性的な人手不足の中、現在の仕事で必要だと感じないと講習会に足を運ぼうという流れになりにくいでしょう。

カレッジ卒業生の情報系講師と一緒に作ったオリジナルテキスト



新人の獲得と育成に積極投資を！

2026年(令和8年)4月採用活動をご一緒に

建築の基礎を学校で学べる魅力をアピールしよう 「東京建築カレッジ無料職業紹介所」登録をお勧めします

登録の最低条件は？

3項目のすべてが必要です。

- 1、労働基準法など雇用のルールをまもること
- 2、学費(教材費を含む)の全額会社負担
- 3、ハローワークで求人票を公開できること

東京建築カレッジ無料職業紹介所は、東京建築カレッジを新入社員の採用と育成に利用する仕組みです。「入社したら東京建築カレッジで充実した基礎教育が受けられます」をセールストークに他社よりも有利に採用活動を進めることができます。就職先の決まっていない東京建築カレッジ入学応募者との出会いのチャンスも。来年春の新卒採用の活動がまもなく本格化します。東京建築カレッジとご一緒に採用活動を始めませんか？



登録事業所には建築カレッジの先生との交流の機会もあります。(2024年7月21日開催の合同研修会＝池袋校舎)

東京建築カレッジを利用した採用・育成のイメージ(高校新卒の場合)

1年目

7月求人票公開、9月中旬～応募受付、採用試験(面接)→採用内定

10月～東京建築カレッジ受験、合格 →入社手続き、入社前研修

2～3年目

週の前半、現場で働きながら週末に東京建築カレッジに通う2年間。

勤務時間中の職業訓練として社員を通学させます。OJT(現場実習)科目で所属事業所もカレッジの教育に参加します。新人の人的成長にもカレッジ教務担当と連携しながら取り組みます。

4年目以降

カレッジ卒業後は、建築の現場の第一線でフルタイム働いてもらいます。後輩への指導援助も大切な役目です。建築士や技能士など国家資格取得に向けた勉強も本格化します。

詳しくはお問い合わせください。電話03・5950・1771 カレッジ係へ